

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査 調査結果報告及び分析（横浜市立さちが丘小学校）

本年度、4月19日に調査を実施した「令和4年度全国学力・学習状況調査」の結果集計データを基に、本校第6学年児童の学力及び学習状況について分析を行いました。分析結果を今後の学習指導及び教育活動の向上に活用し、取組みを進めていきます。保護者の皆様におかれましては、各家庭での学習の参考にしていただければと思います。9月に各家庭にお届けした個人の結果と当分析とを比べてご覧いただくことでより状況が分かりやすくなります。今後とも本校の教育活動にご理解・ご協力よろしくお願いいたします。

### 1. 「令和4年度 全国学力調査 結果概要」（本校対象児童数：102名）

#### （1）国語科の調査結果及び分析

調査対象	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
さちが丘小学校	102	10.1 / 14	72
神奈川県(公立)	69,948	9.1 / 14	65
全国(公立)	965,308	9.2 / 14	65.6

区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
		さちが丘小学校	神奈川県(公立)	全国(公立)
全体	14	72	65	65.6
評価の観点	知識・技能	69.3	66.3	70.5
	思考・判断・表現	74.8	63.3	62.0

国語科の調査結果においては、全国平均及び神奈川県平均を7%近く上回る結果となった。観点別に見てみると、「知識・技能」において正答率が全国平均と約1%下回っているものの、「思考・判断・表現」の正答率は約13%平均を上回っていた。本校が重点的に取組みを進めている「語り合い」「伝え合い」の学びが反映され、「書くこと」によって

相手に自身の考えを伝えきる手段の思考について定着が見られる結果となったと考えられる。

国語科における基礎知識となる漢字や言語習得の学習についてより力を入れて学習に取り組むと共に、定着してきている「思考・判断・表現」面について更なる指導の工夫を凝らしながら学習を進めていきたいと考える。

- ・漢字の習得を含めた言語習得に向けた学習時間を確保していきます。
- ・自身の伝えたいと感じた想いを「書くこと」につなげることができる学習場面を設定していきます。



#### （2）算数科の調査結果及び分析

調査対象	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
さちが丘小学校	102	11.2 / 16	70
神奈川県(公立)	69,951	10.2 / 16	64
全国(公立)	965,431	10.1 / 16	63.2

区 分		対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			さちが丘小学校	神奈川県(公立)	全国(公立)
全 体		16	70	64	63.2
評価の 観点	知識・技能	9	72.8	69.0	68.2
	思考・判断・表現	7	65.8	57.5	56.7

算数科の調査結果においては、全国平均及び神奈川県平均を約6%上回る結果となった。観点別に見てみると、「知識・技能」において正答率が全国平均と約4%上回り、「思考・判断・表現」の正答率では約9%平均を上回っている。算数科における基

礎・基本の「知識・技能」が定着し始め、応用問題の理解に活かすことができる傾向が見られる。「思考・判断・表現」をより伸ばしていくために、「知識・技能」の定着を大切にした学習を進めていきたいと考える。

- ・算数科の基礎・基本を大切にし、スキルタイムを活用しながら学力の向上を目指します
- ・自身の考えを言葉で説明する機会を学習場面に積極的に取り入れることで、「思考・判断・表現」を高めていきます。



### (3) 理科の調査結果及び分析

調 査 対 象	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
さちが丘小学校	102	12.1 / 17	71
神奈川県(公立)	69,996	10.8 / 17	63
全国(公立)	965,761	10.8 / 16	63.3

区 分		対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			さちが丘小	神奈川県(公立)	全国(公立)
全 体		17	71	63	63.3
評価の 観点	知識・技能	6	72.4	61.8	62.5
	思考・判断・表現	11	70.4	64.2	63.7

理科の調査結果においては、全国平均及び神奈川県平均を8%近く上回る結果となった。観点別に見てみると、「知識・技能」において正答率が全国平均と約10%上回り、「思考・判断・表現」の正答率でも約7%平均を上回っていた。理科の学習を進める際に重点を置いてきた既習事項を大切にした思

考の時間の成果が、両観点の定着につながったと考えられる。

設問によっては平均値を下回っているものもあるため、その観点を重点的に日々の理科の学習に取り入れていくことでより理解を深めていくことができるようにしたいと考える。



- ・既習事項や実験等に対する予想を大切にし、個々の思考を深める時間を確保しながら学習内容に対する理解をより深められるように授業を工夫していきます。

## 2. 「令和4年度 全国学力調査 生活状況調査 結果概要」 (本校対象児童数：102名)

生活状況調査においては、質問項目数が多数に及ぶため、右記の調査結果について本校の状況一項目のみに絞り紹介させていただきます。各項目全国平均値をほぼ上回る結果となりました。平均値を下回ったものを更に分析し、全学年の指導につなげていきます。その他の調査結果をご覧になりたい際には、必要に応じますので、本校副校長(小西)までご連絡ください。

○自分には良いところがあると思いますか。

